

り、アッラ とは何者なのかと疑 に思われる 合もあります。

アラビア において、アッラ は「あらゆる崇 献身行 に する、唯一なる真 の神」という意味を持ちます。アラビア を すユダヤ教徒 キリスト教徒も神をアッラ として言及し、バ イブルの章句の

“ け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。” (申命 6:4、マルコ12:29) で言及されている同一の唯一なる真 の神なのです。「神」という言 は多くの言 において なる りや 音を持ちます。フランス ではディウ (Dieu) 、スペイン ではディオ ス (Dios) 、中国 では唯一神をシャンディと呼びます。一神教 (ユダヤ教、キリスト教、イスラ ム) において、神は同じ存在です。

相 が 生ずるのは、「神」という が「神々」のように 数形になったり、「女神」のように女性形になったりした 合です。アラビア ではその限りではありません。アッラ という言 は独自であり、 数形も女性形もありません。アッラ を「かれ」として言及することは文法的な用法のみであり、アッラ に私たちが思い浮かべることのできるような姿 形や性 があることを示唆するものでは全くありません。アッラ は唯一 比であり、偶像 神と名前を共有することはありません。アッラ の御名は不 であり、かれは御自身について、クルア ンの中でこう 明されます。

“??
??”?????????112?

ムスリムとは神に う者のことであり、かれが唯一なる 造主であることに全くの疑念も抱かない者のことです。ムスリムは神によって授けられたすべての や祝福に感 し、自分の周 や宇宙を 渡してその 性を したり、海の深 さ、花びらの さの中に神の 智を 出し感 します。ただし、こうした信仰だけがムスリムに して要求されているのではなく、ムスリムは神のみが崇 に するという事も知らなければなりません。神には同位者、同等の存在、配偶者や子などはいません。

かれこそは神 アッラ なのです。全宇宙はかれの唯一性を 言します。宇宙について熟考 すると、一粒の砂といったちっぽけものから山のような雄大なものまで、神の 大きさを 出すことができます。この い宇宙は精密な に基いて されており、あらゆるものは正し

抱いて礼のめを守れ。”（クルアーン20:14）

神を崇めるには、神を知らなければなりません。私たちはこの知によって本物の、永続する利益を得るのです。それは信仰を加させると共に、最も大であり、最も智にちた、最も慈悲深き公正なアッラへと人の心を近づかせるのです。

脚注：

1

アラビアで「サマド」は、「あらゆる被造物が必要としている、食などの必要性からな自存の主」を意味します。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1594>

著作権 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。